

信頼性の高いWebシステムを、 地元に密着したソリューションとして提供するために、 「Cosminexus認定資格制度」を活用

愛媛県有力システムインテグレータである株式会社 愛媛電算（以下、愛媛電算）は、自治体システム・企業システムの両面で需要が拡大しているWebシステム構築の技術力を高めるため、
コスミンネクサス
「Cosminexus認定資格制度」を活用している。これは、日立が統合システム構築基盤「Cosminexus」のスキルを認定するために運用している制度である。認定資格にチャレンジし、体系的な知識を効率よく身につけられる認定資格講座を受講することで、愛媛電算は、信頼性の高いWebシステムを、地元に密着したソリューションとしてコーディネートして提供することのできる、奥の深い技術力を獲得することに成功している。



株式会社 愛媛電算
取締役
公共事業本部
公共第二システム部長
高橋 弘行氏



株式会社 愛媛電算
公共事業本部
公共第二システム部
公共システム課
大林 和真氏



株式会社 愛媛電算
公共事業本部
公共第二システム部
公共システム課
西本 典正氏



株式会社 愛媛電算
企業事業本部
企業システム部
企業ソリューション課
横田 明浩氏

公需・民需とも Webシステムのニーズが拡大

1967年に地元自治体および地元民間企業の計算センターとして出発した愛媛電算。公需と民需を事業の両輪にしてシステムインテグレーション、パッケージ開発、ASPサービスなど、多彩なサービスを提供している。

「地元に密着し、地場の企業や自治体と同じ目線でITを捉えることができるのが、愛媛電算の強みです。最新技術をそのまま提供するのではなく、お客さまの業務ノウハウと融合し、明確な費用対効果を出すソリューションとして提供してきました」と高橋氏は説明する。

最近の大きな変化は、公需・民需ともにWebシステム化が進んでいることである。

「地元自治体は、国が推し進める電子自治体構想へ対応するために、Webベースの広域ネットワークに接続できる体制づくりが急務になっています。また、住民サービスなどWebベースでのサービスシステムの需要も高まっているのです」（高橋氏）。

企業システムでも、取引先やグループ企業をWebベースのネットワークでつなぎ、リアルタイムに情報を共有して、スピーディに意思決定したいというニーズが高まっている。

Cosminexusをコーディネートできる 高度な技術力が目標

急速に需要が高まるWebシステムを構築するミドルウェアとして、同社が日立の統合システム構築基盤「Cosminexus」に注目したのは、次の3点を評価したからである。

第1に、電子自治体をはじめ、国のシステムと接続する必要があるシステムの共通基盤となっているJ2EEに準拠したWebアプリケーションサーバ製品である。

第2に、開発の現場では効率的な開発とともに、トラブル時の迅速な対応が求められており、Cosminexusなら万一の際にも日立のサポートが得られるので安心である。

第3に、Java™の標準的な技術で設計された、オープン性の高いミドルウェアである。

さらに同社では、Webシステム構築の技術力を高めるため、「Cosminexus認定資格制度」の積極的な活用を始めた。

「信頼性の高いWebシステムを構築するとき、Cosminexusは確かに頼れる存在です。しかし、このミドルウェアをそのままの形で提案するのではなく、お客さまのために全体をコーディネートして提案するのが、愛媛電算本来のアプローチ。Cosminexusの良さを深く理解し、コーディネートする力を身につけるための近道が、認定資格制度なのです」（高橋氏）。

PARTNER PROFILE

株式会社 愛媛電算

www.ehime-densan.co.jp

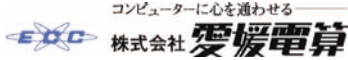
本社 愛媛県松山市大手町1-11-7

設立 1967年4月5日

資本金 9,600万円

従業員数 120名

自治体および県内企業向け計算センターとして出発。
愛媛県内の自治体および企業に、信頼性の高い情報
処理サービスを提供してきた。現在では、公需と民需
を両軸にシステムインテグレーション、パッケージ開発、
ASPサービスなど、多彩なサービスを提供する。



(株)愛媛電算の主なソリューション

滞納バトロール 完納さま	市町村向け滞納整理システム。 県・広域事務組合向け滞納整理システム。
美さいくる	放置自転車管理システム。 ハンディターミナルによる保管管理、競売管理等。
大型ごみ管理システム	市町村向け大型ごみ収集管理システム。 予約管理、業者管理、CTI機能等。
豊年万作くん	POS産直管理システム。 バーコードラベル発行、売上情報メール配信、精算処理等。

認定資格制度は、Cosminexusについての理解の深さと正確さを、客観的に評価する絶対の手段である。技術者本人は、自らの実力と弱点を把握し、さらに自分を高めるための指標を得ることができる。企業としても、自社の人材育成策を客観的に評価できるのだ。

認定資格講座で得られる 体系的な知識も大きな魅力

大林氏がCosminexus認定資格にチャレンジしたのは、数ヵ月前に取り組んだJava™のWebシステム開発で苦労を重ねたからだ。

「このプロジェクトは、Webを活用した大規模システムでしたが、サイジングがむずかしく苦労しました」と大林氏は語る。

Cosminexusであれば、性能設計の基準値を日立が明確に提示し、ピーク時の負荷も高い精度で見極めることができる。不具合が発生したときの事象の切り分け方法、さらには、不具合が発生するケースの予測まで、日立が的確な情報を提供してくれるのである。

「わたしはプレ営業・提案活動を中心に、開発も手伝うという立場なので、Cosminexusの深い知識を身につけておけば、大規模システムや高信頼性システムの提案力が大きく高まるに違いないと考えました」(大林氏)。

同じプロジェクトで苦労をともにした西本氏

は、Java™の基本知識を再確認したいという思いもあって、認定資格にチャレンジした。

「Cosminexusは、Java™の標準技術に則って設計され、開発手法も標準技術で一貫していますから、これを体系的に学ぶことで、Java™そのものについても体系的な知識を得られるというメリットがあります」と西本氏は言う。

構築ノウハウを手に入れたり、体系的な知識を確認するうえで、認定試験に先立って受講する認定資格講座が大いに役立った。

「障害発生時の復旧を自動化するときのポイントなど、マニュアルでは得られないさまざまな知識を、わかりやすく整理して効率よく教えてもらえました」と大林氏は言う。

横田氏も標準的なJava™環境で信頼性の高いシステムを構築するための知識を、認定資格講座で得ることができ、これからのシステム開発の幅が広がったと感じている。

「愛媛電算社内では、若手有志が自主的に集まって、『新アイデア研究会』を定期的に開催しているのですが、わたしは認定資格講座で得たノウハウをこの会で発表してみようと思っています。ノウハウをみんなで共有したうえでブレインストーミングして、次のビジネス開拓のアイデアを探りたい」と横田氏は意欲的に語る。

「システム稼働開始後に不具合が生じたとき、フリーウェアを組み合わせた環境で右往

左往するよりは、最初からCosminexusで信頼性の高いシステムを構築しておいたほうが、トータルのIT投資が抑制できるのではないかと思います」(横田氏)。

開發生産性向上にも Cosminexusが貢献

Cosminexus認定資格講座の受講および認定資格の取得は、開発者の負担を大幅に軽減しながら、信頼性の高いシステムを構築するための大きな推進力となっている。

「これまでは手探りで開発してきた感じがでしたが、今後は情報収集などに悩む必要がありません。信頼性の高いシステムを、自信を持って提案できます」と大林氏。

「Cosminexusは、日本語の開発ツールも多数整備されていますから、開發生産性も高まるはず。開発者に対する日立のサポートも手厚い」と西本氏は続ける。

「お客さまにも、当社の技術力を客観的にアピールできるという成果は大きいと思います。これからも、認定資格制度を積極的に活用し、Cosminexus以外の認定資格も取得していきたい」と高橋氏は語る。

愛媛電算は今後も、より優れたソリューションを提供するために、人材育成の強化に取り組んでいく。

統合システム構築基盤

Cosminexus
コズミネクス

J2EE:Java 2 Enterprise Edition

●Javaは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。

●その他記載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

お問い合わせ

株式会社 日立製作所 ソフトウェア事業部 販売推進部
TEL.03-5471-2592 www.cosminexus.com